

<ニュースリリース>

報道関係者各位

2022年7月27日

一般社団法人全国トマト工業会

トマト加工品（トマトペーストなど）の2022年の展望について <2022年7月>

表題の件、トマトケチャップやトマトジュースの原料となるトマトペースト等のトマト加工品の価格が2021年から急激に上昇しています。

この件につきまして、世界のトマト加工品業界をとりまく環境変化を分析し、2022年後半の展望をとりまとめました。

以下にて報告致します。

■2022年産トマト加工品の7月時点の状況

2022年は、ペースト相場上昇に加え、原油価格、鉄鋼価格、農薬・肥料価格の世界的な上昇が継続しています。各国農家の加工用生トマトの価格は下記の通り合意されつつあります。

主要生産国の2022年7月の状況

- ・米国 : 生トマト価格前年比+24.3%上昇。
- ・スペイン : 水不足による大幅減産。生トマト価格前年比30%上昇。
- ・ポルトガル : 生トマト価格前年比+18~21%上昇。
- ・北イタリア : 競合作物の台頭。生トマト価格前年比+18%上昇。
- ・南イタリア : 生トマト価格 長トマト : 前年比+22%
丸トマト : 前年比+24%
- ・トルコ : インフレ率上昇によるコスト上昇。競合作物の相場上昇もあり、生トマト価格は、昨年比2倍以上となる見込みですが、未だ決着には至っていません。

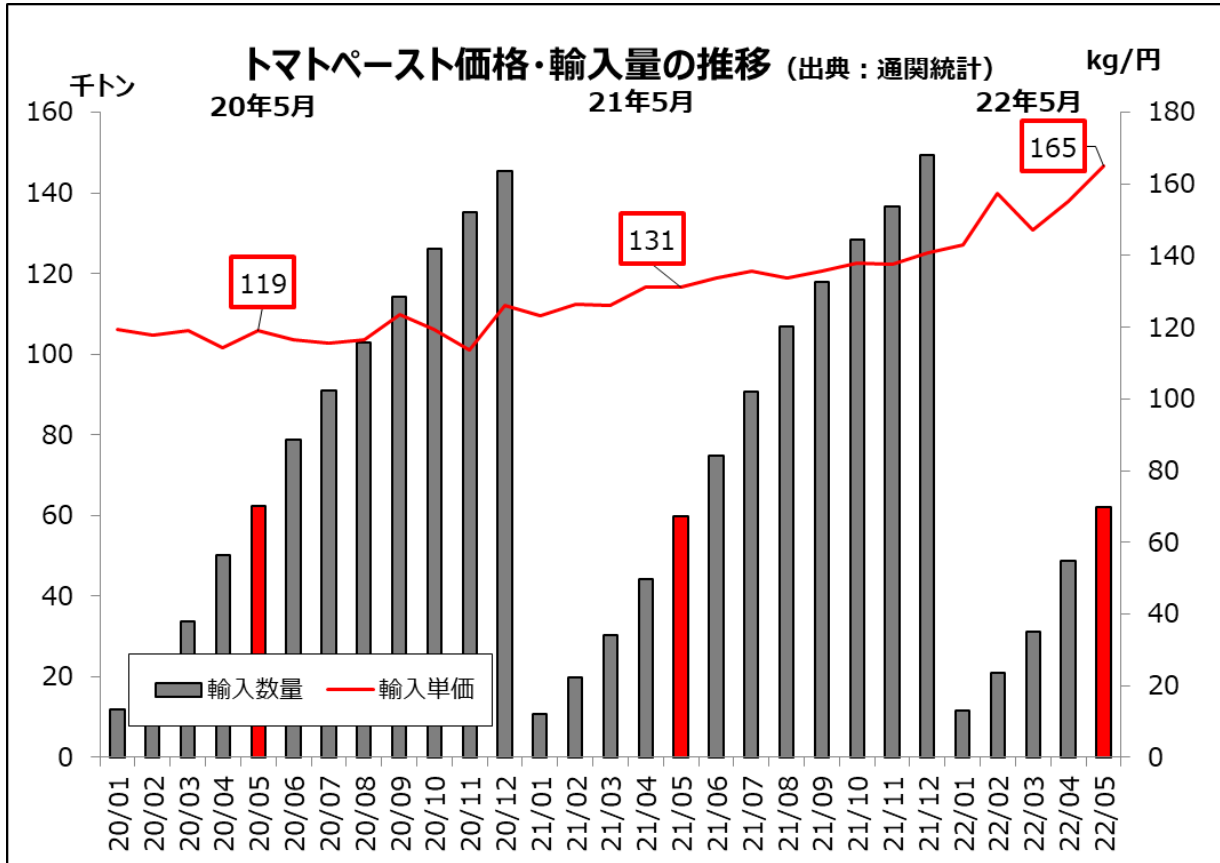
上記、主要生産国の状況に加え、ロシア-ウクライナ危機の長期化により、天然ガス・石油等の予測できない高騰、トマトの競合作物である綿花、コーン相場の更なる上昇による農家のトマト栽培からの離脱が考えられ、トマト加工品の相場価格は急上昇している状況です。

また、世界的な円安が続くことにより、トマト加工品の輸入価格の上昇に更に拍車がかかることが見込まれます。

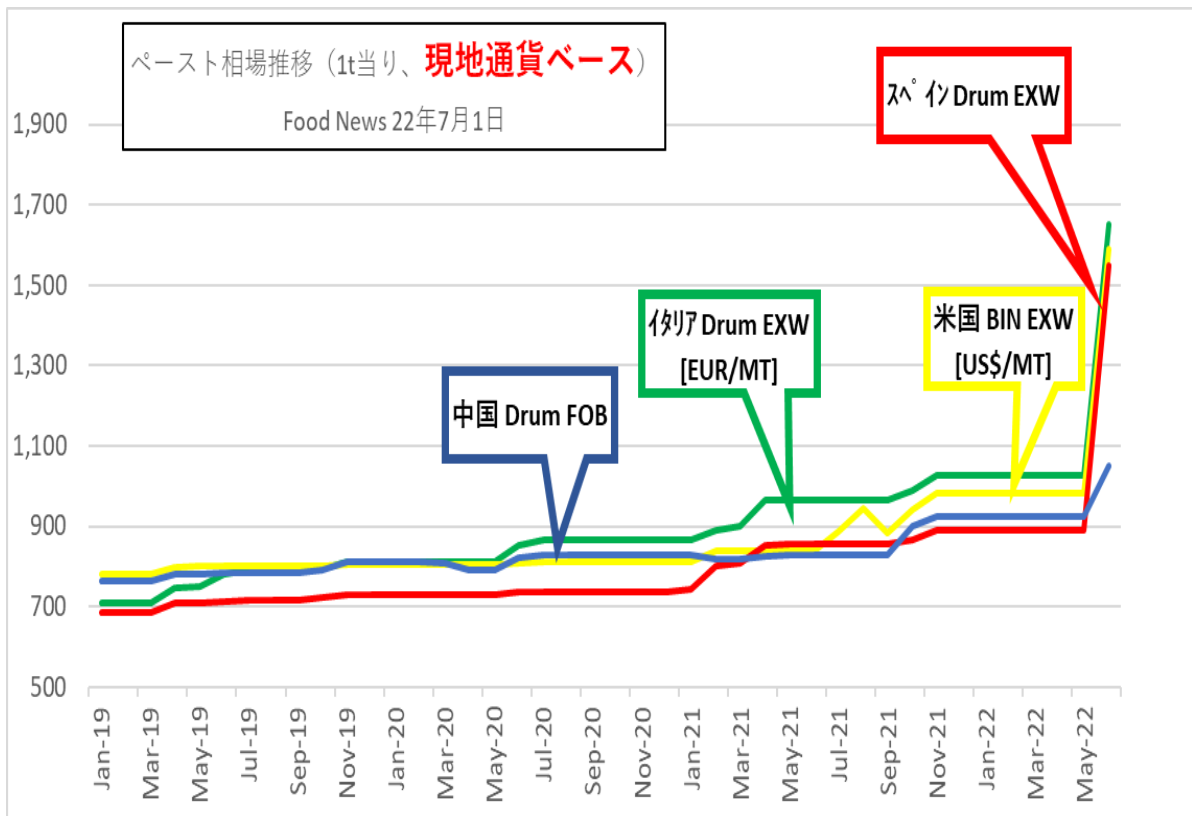
<参考>

Tomato News ; https://www.tomatonews.com/en/news-_2.html

■通関統計より ペースト輸入単価推移

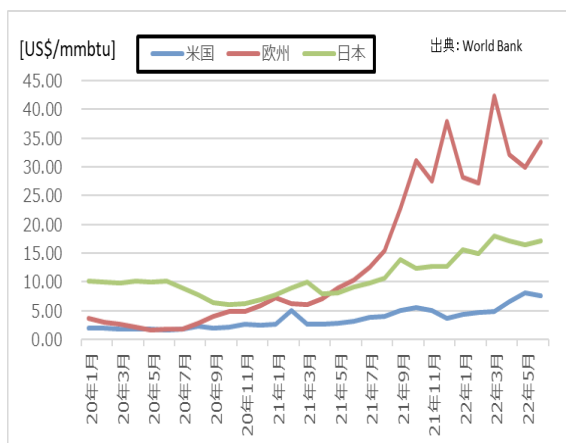


■Foodnews 相場情報

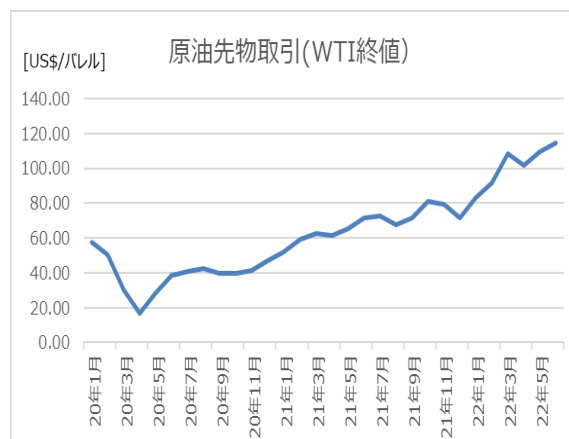


■資源相場

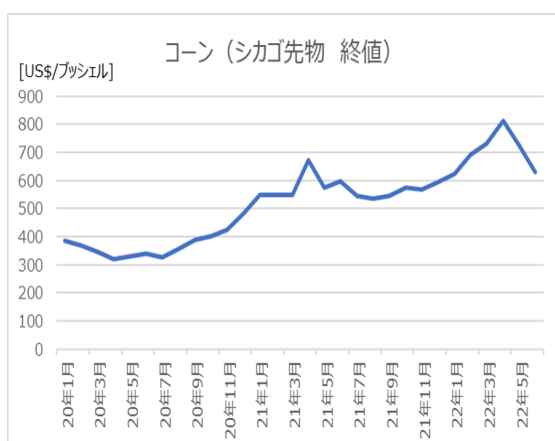
①天然ガス



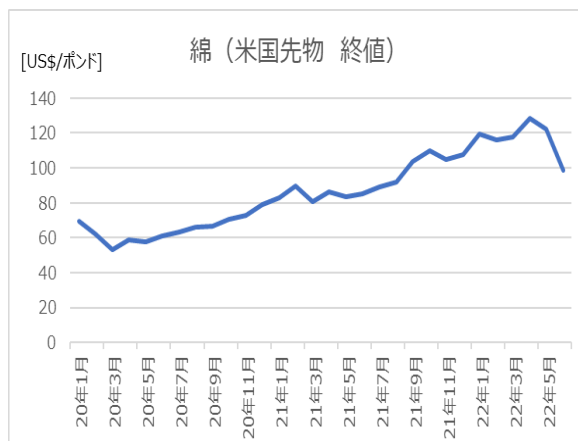
②原油



③コーン



④綿花



一般社団法人全国トマト工業会について

全国のトマト加工品メーカーの業界団体。2022年7月現在、会員社は34社。1963年、トマト加工品及びにんじん飲料等の開発及び品質の向上、並びに加工用トマト及び加工用にんじん等の生産及び出荷の合理化を図り、国民の食生活の改善に資することを目的として設立。

所在地：東京都中央区日本橋小伝馬町 15-18 3階（電話 03-3639-9666）

◇この件に関するお問合せ先；一般社団法人全国トマト工業会 小後摩／根本

TEL:03-3639-9666、e-mail:nemoto@japan-tomato.or.jp